

福井市にぎわい交流施設

所 在 地	福井市中央 1 丁目 2 - 1
所管課等	都市整備課

1 指定管理者の概要

名 称	まちづくり福井株式会社	代表者	松尾 大輔
所在地	福井市中央 1 丁目 2 - 1		

2 指定管理期間

令和 6 年 4 月 1 日～令和 1 1 年 3 月 3 1 日（第 3 期）

3 施設の利用等の状況

	第 1 期	第 2 期					第 3 期	
	H28～30 全期平均	R元年度 全期	R2年度 全期	R3年度 全期	R4年度 全期	R5年度 全期	R6年度 全期	R7年度 全期
来場者数 (人)	283, 771	275, 176	116, 371	100, 644	179, 922	293, 945	296, 145	279, 678
前年度比 (人)	-	▲ 1, 647	▲ 158, 805	▲ 15, 727	79, 278	114, 023	2, 200	▲ 16, 467
前年度比 (±%)	-	▲ 0. 6	▲ 57. 7	▲ 13. 5	78. 8	63. 4	0. 7	▲ 5. 6
利用料金 (千円)	28, 818	28, 774	17, 099	25, 830	27, 086	36, 195	33, 816	35, 624
前年度比 (千円)	-	▲ 1, 601	▲ 11, 675	8, 731	1, 256	9, 109	▲ 2, 379	1, 808
前年度比 (±%)	-	▲ 5. 3	▲ 40. 6	51. 1	4. 9	33. 6	▲ 6. 6	5. 3
屋根付き広場 稼働率 (%)	84	84	79	75	72	75	80	71
多目的ホール 稼働率 (%)	66	66	71	73	75	66	77	78

4 納付金・指定管理料の状況

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
指 定 管 理 料(千円)	72, 526	71, 056	71, 080	63, 866	64, 738	67, 306	67, 799	67, 800	68, 058	68, 058
納付金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
年間稼働率 ・ 屋根付き広場 86%（土日休日 95%）以上 ・ 多目的ホール 70%（土日休日 90%）以上	・ 屋根付き広場 71%（土日休日 93%） ・ 多目的ホール 78%（土日休日 95%）
指定事業の実施回数 ・ 施設ごとに年 12 回以上実施	・ 屋根付き広場 12 回 ・ 多目的ホール 12 回
指定事業及び自主事業の年間来場者数 ・ 屋根付き広場 10 万人以上 ・ 多目的ホール 8 千人以上	・ 屋根付き広場 101, 114 人 ・ 多目的ホール 8, 340 人
にぎわいの波及 ・ 中心市街地の近隣商業施設等と連携したイ ベント等を実施	・ 連携イベント等の開催 5 回

※稼働率は、施設利用キャンセルのあった日を稼働日に含め算出

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

(施設・設備に関すること)

内容：ハピリンホールで、中入り後しばらく割幕が開かなかった。

対応：舞台装置の保守業者に確認したところ、レールのパーツに傾きがあると幕が引っかかってしまい開かなくなるとのこと。構造上やむを得ないため、パーツが傾かないよう慎重に開閉することに対応する。

内容：ハピリンホールにあるピアノ用背もたれ付き椅子の数を増やしてほしい。

対応：必要に応じてレンタルが可能である。今後は打合せ時に確認して、事前に手配する。

(職員の対応に関すること)

内容：打合せの日程が施設内で共有されていなかった。

対応：スムーズな案内ができるよう、再度職員に周知した。

内容：施設利用後のアンケートを、後日メールで回答できるようにしてほしい。

対応：催事前アンケートを配布していたが、希望があればメールでも対応することにした。

内容：利用料金が前納のため、追加で利用料金が発生した場合に料金を2回払わなければならない不便である。

対応：利用料金は運用規定に基づき前納制としている。会場の追加利用料金や備品使用料等、利用する過程で費用が追加発生した場合には、利用者の理解を得られるような丁寧な説明をするようスタッフに周知した。

(予約に関すること)

内容：予約が埋まっている日が多く、会場を押さえにくい。毎年通例の行事は優先的に予約できるようにしてもらえると、利用の増加につながる。

対応：毎年通例であっても優先的に予約できるようなルールは設けていない。予約は利用日の1年前の月の初日から可能であるため、比較的予約が取りやすい受付開始日に予約するよう伝えた。

内容：予約時に、教育関係の取り組みを優先してもらえるとありがたい。

対応：予約は利用日の1年前の月の初日から可能であるが、一定規模以上の学会や大会、研究会等を対象に予約の開始日前から事前受付を行っており、教育関係の催事についても、条件に該当する場合は事前受付が可能である。今後も公平性を保ちながら適切な予約受付を行っていく。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
施設の利用促進及びPR	まちなか情報ボードやハピリンデジタルサイネージ、近隣施設等に事業のチラシを設置し、事業の周知PRを図った。
指定事業等の実施	【ハピテラス】 ・ 昭和100年祭 「昭和100年」の節目を迎える昭和の日を前に開催され、幅広い世代が昭和の文化や暮らしに触れる機会を創出し、世代間交流の場となった。国が「昭和100年」関連施策を推進するなかでの実施であったことから、注目度が高いイベントとなった。 ・ ふくいメロンまつり 出店店舗の一つが武生高校の生徒とコラボレーションして商品開発を行ったことが話題を呼び、集客につながった。イベントが高校生の社会実習の場として活用され、社会貢献につながった。 ・ 幸せもちもち満腹祭 福井の餅文化の発信だけでなく、ステージイベントに子ども餅つき体験や一升餅パフォーマンスなど、「餅」にまつわる伝統行事を取り入れることで、次世代への文化継承の機会を創出した。 【ハピリンホール】 ・ 多目的ホールの利用が少ない時期に「夏休み子どもサイエンス」や「妖怪フェス」などの指定事業を積極的に実施し、稼働率の向上と来場者数の増加につなげた。また、平日に株主総会で利用する際の料金を2割減免にする取組みを実施し、株主総会を誘致した。これらの取組みの結果、稼働率は開館以来最高となった。

	・「妖怪フェス」では、まち歩きをしながら福井城址に根付く妖怪のエピソードトークを行っており、にぎわい交流施設からまちなかへとにぎわいを波及させる取組がなされていた。
受託事業の実施	本市から運営を委託された「autumn fest」では、イベントの企画構成や運営、広報、関係者との連絡調整など、イベント実施にかかる業務一式を担った。「受託事業」は、イベントの運営力を有しない委託者から寄せられる多様な要望に対し、人的・技術的支援を行うものであり、指定事業以上に高度な調整力を要するものであるが、指定管理者がこれまでに培ってきた企画力や運営力により、事業を円滑に実施することができた。

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	空調設備、電気設備、消防設備等の保守点検業務を委託により実施。 (点検報告書、聞き取りにて確認)
清掃業務	直営及び委託により、日常清掃及び定期清掃を実施。 (日報及び事業報告書、聞き取りにて確認)
保安警備業務	警備会社に委託し、機械警備を実施。 (日報及び事業報告書、聞き取りにて確認)
備品管理	備品台帳を整備し、損傷、経年劣化等の状態確認を随時実施。 (備品台帳、事業報告書、聞き取りにて確認)
小規模修繕	基本協定書に基づき、年間 200 万円の範囲内で実施。 (事業報告書、聞き取りにて確認)

9 指定管理者のコメント

【屋根付き広場】 令和7年度は、新幹線開業の特需が落ち着いたことにより、全体の稼働率は昨年を下回ったが、土日祝日の稼働率は93%と高い水準を維持することができた。今年度からSNS発信に力を入れたこともあり、若年層や県外からの来場促進にもつながった。一方で、平日の稼働率は引き続き課題となっており、利用促進に取り組んでいきたい。 【多目的ホール】 コンベンションや学会、企業の利用など、開館以来過去最高の稼働率を達成することができた。なかでも土日は95%を達成し、施設の認知度と信頼が定着していると思われる。今後も常連のお客様を大切にしつつ、新たな利用者層の開拓に向け努めていきたい。 令和8年は開館から10年という大きな節目を迎える。これまで、福井駅前のにぎわい創出拠点として、多くの市民や県外からの来訪者に利用されてきた。次の10年に向け、これまで培ってきた運営のノウハウや地域のネットワークを活かしながら、福井駅前の魅力向上と持続的なにぎわい創出に貢献し、「福井の玄関口にふさわしい交流拠点」として駅前全体へのにぎわい波及を目指していきたい。
--

10 所管所属の所見

多目的ホールは平日・土日祝日ともに年間稼働率の要求基準を達成することができた。多目的ホールは、伝統芸能や会議等で利用されることが多い施設であるが、貸館利用が少ない時期に子ども向け科学教室や「妖怪」をテーマにしたイベントなど新たなジャンルの事業を実施したことや、平日における株主総会での利用料金を2割減免にする取組みで株主総会を誘致したことが功を奏し、稼働率・入込数ともに増加が続いている。一方、ハピテラスは平日・土日祝日ともに稼働率の要求基準を達成することができず、特に4～7月は基準を大幅に下回った。これは、令和6年度実施していたビアガーデンや恐竜体操など長期間または定期的に開催するイベントがなかったことや、稼働率の集計に含めない部分利用の増加等が原因と考えられる。それらの代替イベントとして、子ども向けのイベントやキッチンカーを活用したイベントを実施したものの、要求基準の達成には至らなかった。次年度に向けて、要求基準未達の理由を分析し、事業内容の見直しや貸館増加のための工夫を行うことなどが求められる。 施設及び備品の維持管理については、保守点検、清掃、警備業務等が適正に実施されており、運営体制は概ね良好である。 令和8年4月には開設10周年を迎え、まちなかのにぎわい創出拠点としての役割はますます高まっていく。福井ブランドの強化や発信につながる事業を積極的に展開して県内外からの誘客を推進するとともに、周辺施設と連携した事業を実施し、まちなか全体へのにぎわい波及につなげてほしい。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		(1)管理項目 月 日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(1)管理運営 (ア)維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	3	3	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	3	3	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	3	3	・現地調査で台帳と照合等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ)運営業務	利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	3	3	・業務日報等の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の収受と管理 ・一連の事務の適正な実施	3	3	・関係書類や現地調査により確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ)報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	3	3	・関係書類の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2)サービスの内容 (ア)利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	4	4	・関係書類の確認等	様々な媒体を活用し、積極的にPR活動を行っている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	3	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	周辺施設との連携イベントやまちなか回遊イベントを実施した。
(イ)サービス向上の取組み	利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	5	5	・関係書類の確認等	定期的にアンケートを実施し、利用者の意見を施設運営や事業に反映している。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	新規テーマの自主事業を積極的に実施している。
(ウ)要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	2	2	・事業報告書の確認等	年間稼働率が要求基準未達である。
(エ)応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	3	4	・事業報告書の確認等	より集客が見込める事業に変更して実施した。
(3)安定性 (ア)管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	3	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	定期的に研修を実施し、職員の資質向上に努めた。
(イ)法令等の遵守 個人情報の管理状況	・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	3	3	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	
(ウ)安全・衛生対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	4	4	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	安全・衛生対策を徹底し、利用者等が安心して利用できる環境を整備した。
(エ)危機管理 対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	ハピリン内施設と連携して、防災訓練を実施した。
(4)収支状況 (ア)経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	3	3	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	
	(イ)経費削減の取組状況 ・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
合計		68	70		
割合(合計/100点満点)		0.68	0.70		

★※評価で3点以外の評価をする場合((1)管理運営含む)は、採点理由に理由・根拠を必ず記入すること。

【参考】全期モニタリング採点基準表(指定管理者及び所管所属)

業務の結果	点数	備考
未実施や実施の遅延がある	1～2点	未実施や遅延の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること
標準(協定等に規定されていることを最低限満たしている。)	3点	
事業の実施により、よりすぐれた効果が現れている	4～5点	効果の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること

*福井市指定管理者事務処理マニュアル抜粋